



## 株式会社清水

### プロフィール

- 社名:株式会社清水
- 設立:昭和33(1958)年(昭和24(1949)年創業)
- 所在地:鳥取市古海542番地1 千代金属センター内  
TEL:(0857)23-0990
- 代表者:代表取締役会長 清水 昭允  
代表取締役社長 清水 昭生
- 資本金:5,000万円
- 従業員数:93名
- 事業内容:一般鋼材、特殊鋼、鋼管、非鉄の卸販売及び金属加工(シャーリング加工、レーザー・プラズマ・ガス溶断加工、鋸切断、穴あけ、プレス曲げ加工、開先加工、切削加工、ロータリー研磨加工、マシニング加工、ショット加工)、不動産の賃貸業務



清水 昭允 会長

### 金を失うと書く「鉄」を社業に

清水会長の父親が戦後に「清水鉄鋼商店」を創業。その後、清水会長の言によれば、借金を抱えながら金を失うと書く「鉄」を社業と定め「有限会社清水商店」を設立することとなる。様々な苦労の中で転機となったのが、同じ金物業を営む伯父から「座禅を組んで精神を練れ」と言って紹介された興禅寺住職の「無心になれ」と「無一物中無尽蔵」という言葉であった。無心となってお客さまの役に立つことができれば買ってもらえる、鉄は「産業の米」とも言われ、多くの分野に活用されており、流通させるだけでなく付加価値を高めていくことで事業の可能性が広がるということを確認できたのである。そこから鉄への付加価値の追求が始まる。

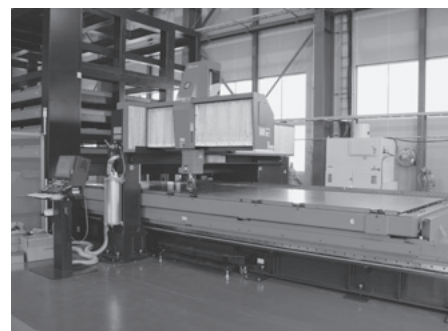


### 付加価値を追求し、ワンストップサービスを推進

まずは、切断の一次加工から穴あけや曲げなどの二次加工、溶接やMC(マシニングセンター)加工などの三次加工までの全てを自社内で行うワンストップ化の推進である。お客さまのニーズを把握し、そのニーズに沿った様々な加工を施すことにより付加価値を高めた。手間も省け、やりにくい仕事をやってくれるうえに品質の良い製品を納入してもらえるとお客さまからも好評を得、着実にマーケットは広がっていった。付加価値を高めることで利益率も向上する、そのためにプラズマ・ガス溶断工場、レーザー工場、シャーリング工場等を増設し、2012年には山陰でも数少ない5面加工大型マシニングセンターを導入するなど最新鋭設備を多数導入した。



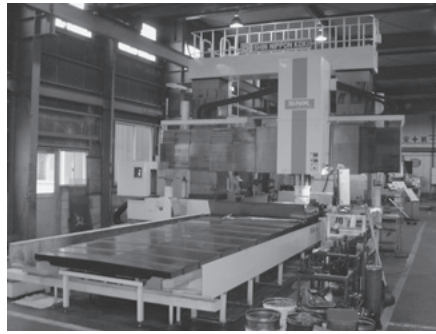
H型鋼穴あけ切断ライン



レーザー加工機



NCプラズマ溶断機



マシニングセンター

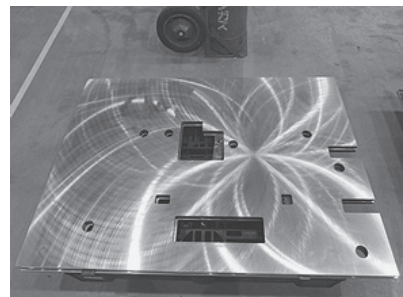
## 自社専用トラックの活用でワンストップサービスを確立

更にワンストップサービスの価値を高めているのが、自社の専用トラックを活用した納品である。それまでは、配送専門会社に納品を委託していたため、積載量がある程度まとまらないとトラックを動かすことができず、直前まで納品日時が確定しない等の課題があった。150km圏域内を範囲と定め、自社専用トラックを定期的に行かせることで、積載量の多寡にかかわらず決まった日時に納品が可能となったのである。このこともお客さまから好評を得るとともに、同社の強みとなっている。



## 「煮えたら食わぁ」からの脱却で県外へ進出

鳥取県民の気質を「煮えたら食わぁ」と言うそうである。これは、料理がグツグツと煮えてきたら、それを食べよう、それまではじっくりと見ているだけ、どうなるかなと見ている様子を表しているとか。同社はこういった気質からの脱却という意味で、従来からの得意先とタグを組んで付加価値の高い製品の供給を可能とし、兵庫県姫路市、徳島県、高知県、山口県、遠くは石川県等、積極的に県外への進出を図っている。



## 地域のために尽くす

鳥取青年会議所・中央会および法人会会長、鳥取産業教育振興会会長、鳥取市社会福祉協議会会長、鳥取県更生保護観察協会会長、鳥取県発明協会会長、鳥取県防衛協会会長等々、地域社会に貢献する仕事を積極的に引き受ける清水会長の肩書は数え切れない程多い。

(担当：菰下)